

各位

上場会社名 株式会社 Lib Work
代表者名 代表取締役社長 瀬口 力
(コード番号: 1431 東証グロース・福証 Q-Board)
問合せ先責任者 取締役経営企画室長 難家 嘉之
(TEL. 0968-44-3227)

当社3Dプリンター住宅のモデルハウスが 日本を代表する建築専門誌『新建築』に掲載

当社が建築した土を主原料とする3Dプリンター住宅のモデルハウス「Lib Earth House “model B”」(以下「本プロジェクト」)がこのたび、日本を代表する建築専門誌『新建築』(株式会社新建築社発行)2026年4月号に掲載されましたお知らせいたしますのでお知らせいたします。

本プロジェクトは、土を主原料とした3Dプリント壁と在来工法の木造軸組によって構築した平屋建て住宅で、建設業界が抱える深刻な職人不足などの課題解決に向けた先進的な取り組みです。『新建築』では、3Dプリンターならではの、人の手では表現できない曲面を活かした先進的なデザインや開発に至るまでの経緯などが紹介されました。さらに当社が本プロジェクトにおいて、「環境と健康」をテーマに建設用3Dプリンターを活用し、いつまでも地球上で健やかに暮らし続けられる未来の住まいのあり方を探求していることなども取り上げられています。



掲載概要

媒体名: 新建築 2026年4月号

発行日: 2026年4月1日

掲載ページ: P.168~P.171

出版社: 株式会社新建築社

1. 「Lib Earth House “model B”」の特徴

「Lib Earth House “model B”」は国内初、土を主原料とした約100㎡の3Dプリンター住宅です。壁はセメントを一切使わず、土を主原料に天然由来の素材だけで構成されたサステナブルな土壁です。セメントを一部使用していた旧モデル(model A)に比べて約5倍の強度を実現。さらに、100㎡の住宅における当社の試算では、RC(鉄筋コンクリート)住宅に比べてCO₂排出量を約50%削減しています。これは一般的な木造住宅の排出量をも下回る数値であり、製造プロセスそのもののCO₂負荷を大幅に低減し、カーボンニュートラル社会の実現に大きく貢献します。また、2025年12月3日には、土を主原料とした新しい建築材料の配合および製造技術に関して特許を取得。当社は今後、設計から施工までAI技術を活用した完

全自動住宅建設の実現を目指します。

特徴	得られるメリット
土を主原料としたセメントを一切使用していない 環境配慮型材料	廃材削減やCO ₂ 排出抑制に寄与
設計の自由度	有機的な曲線や従来工法では困難なデザイン を実現
壁内結露監視システム	壁内部の温湿度をリアルタイムでモニタリン グ
スマートIoT設備を装備	エアコン・照明・浴室などをスマホや専用モ ニターから遠隔操作可能。利便性と快適性を 大幅に向上。
テスラ社の蓄電池「Powerwall」と太陽光発電パネ ルを組み合わせたオフグリッドシステム	電力会社に依存しない自給自足を実現

2. 業績に与える影響

2026年6月期の業績予想に与える影響は軽微と考えます。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

当社は、本事業を通じて、SDG s 番号3「すべての人に健康と福祉を」、SDG s 番号11「住み続けられるまちづくりを」、SDG s 番号12「つくる責任つかう責任」、SDG s 番号13「気候変動に具体的な対策を」、SDG s 番号15「陸の豊かさを守ろう」及びSDG s 番号17「パートナーシップで目標を達成しよう」の実現に努めてまいります。



以上